

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名(登録名) : くみあい苦土マンガンほう素石灰窒素有機入り複合286  
製品名(ペットネーム) : エコマイルド286  
会社名 : 全国農業協同組合連合会  
連絡先 : 肥料農薬部  
住所 : 東京都千代田区大手町一丁目3-1 JAビル33F  
電話番号 : 03-6271-8286  
FAX番号 : 03-5218-2536  
e-mail : zz\_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp  
緊急連絡先 : 03-6271-8286

推奨用途及び使用上の制限

肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないでください。

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

: 火薬類	分類対象外
: 可燃性/引火性ガス	分類対象外
: 可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
: 支燃性/酸化性ガス	分類対象外
: 高圧ガス	分類対象外
: 引火性液体	分類対象外
: 可燃性固体	分類できない
: 自己反応性化学品	分類対象外
: 自然発火性液体	分類対象外
: 自然発火性固体	区分外
: 自己発熱性化学品	区分外
: 水反応可燃性化学品	区分外
: 酸化性液体	分類対象外
: 酸化性固体	分類対象外
: 有機過酸化物	分類対象外
: 金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

: 急性毒性(経口) 区分 4

急性毒性(経皮)	区分 5
急性毒性(吸入:ガス/蒸気/ミスト)	分類対象外
急性毒性(吸入:粉じん)	区分 4
: 皮膚腐食性/刺激性	区分 2
: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
: 呼吸器感作性/皮膚感作性	分類できない
: 生殖細胞変異原性	分類できない
: 発がん性	分類できない
: 生殖毒性	分類できない
: 特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	区分 3(呼吸器系)
: 特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	分類できない
: 吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

: 水生環境有害性(急性)	区分 2
水生環境有害性(慢性)	区分 3
: オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語  
危険有害性情報

- : 危険
- : 飲み込むと有害(経口)
- 皮膚に接触すると有害のおそれ(経皮)
- 吸入すると有害(粉じん)
- 皮膚刺激
- 重篤な眼の損傷
- 呼吸器への刺激のおそれ
- 水生生物に毒性
- 長期的影響により水生生物に有害

注意書き

- : **【安全対策】**
- 適切な保護眼鏡、保護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣を着用すること。
- 粉じんを吸入しないこと。
- 取り扱い後はよく手を洗うこと。
- 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
- 環境への放出を避けること。

3. 組成及び成分情報

化学物質

化学物質・混合物の区別  
化学名又は一般名、別名

: 混合物	
: カルシウムシアナミド	CaCN <sub>2</sub>
水酸化カルシウム	Ca(OH) <sub>2</sub>
炭素	C
尿素	CO(NH <sub>2</sub> ) <sub>2</sub>
塩化カリウム	KCl
硫酸アンモニウム	(NH <sub>4</sub> ) <sub>2</sub> SO <sub>4</sub>
りん酸二アンモニウム	(NH <sub>4</sub> ) <sub>2</sub> HPO <sub>4</sub>

	酸化マグネシウム	MgO
成分及び含有量	: 窒素全量(TN)	12% (成分表示は保証成分に限る)
	: リン酸全量(TP)	8%
	: 加里全量(TK)	6%
	: <溶性苦土(CMg)	3%
	: <溶性マンガン(CMn)	0.4%
	: <溶性ほう素(CB)	0.2%
CAS番号	: カルシウムシアナミド	156-62-7
	: 水酸化カルシウム	1305-62-0
	: 炭素	7440-44-0
	: 尿素	57-13-6
	: 塩化カリウム	7447-40-7
	: 硫酸アンモニウム	7783-20-2
	: リン酸二アンモニウム	7783-28-0
	: 酸化マグネシウム	1309-48-4
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	: カルシウムシアナミド	(化審法番号)1-121
	: 尿素	(2)-1732
	: 塩化カリウム	(1)-228
	: 硫酸アンモニウム	(1)-400
	: リン酸二アンモニウム	(1)-379
	: 酸化マグネシウム	(1)-465
PRTR法 (化学物質排出把握管理促進法)	: 政令番号:77 カルシウムシアナミド	(第一種指定化学物質) 8.3%

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。多量の場合、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 付着部又は接触部を石鹼できれいに洗い流す。外観に変化が見られたり痛みが続く場合は医師の手当てを受ける。
- 目に入った場合 : 清浄な水で15分間以上洗浄する。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。  
洗眼の際、瞼を指でよく開いて眼球、瞼の隅々まで水が行き渡るように洗浄する。  
直ちに医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 正気な場合、水か牛乳を飲ませ直ちに医師の手当てを受ける。  
被災者に意識が無い場合には、口から何も与えてはならない。  
また、吐かせようとしてもいけない。

#### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス消火剤
- 使ってはならない消火剤 : なし
- 消火方法 : 通常は水利用でよいが、消火剤も使用できる。  
周辺火災の消火活動を行う。  
容器を水噴霧で冷却する。  
できれば容器を危険地域外に移す。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置 : 適切な保護眼鏡、保護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣を着用し拭取り回収を行うこと。
- 環境に対する注意事項 : 公共用水域に流出しないように留意すること。
- 回収・中和 : シート等で覆い、飛散防止を図り、容器を回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い上の注意事項 : 24時間は飲酒しない。  
適切な保護具を着用する。  
破袋しないよう注意する。  
水濡れに注意する。
- 保管上の注意事項 : 施錠して保管すること。  
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)  
日本産衛学会(2005年) : 設定されていない。  
ACGIH(2005年) : 設定されていない。
- 設備対策 : 換気を良くし、粉塵の飛散を防止する。
- 保護具  
呼吸器の保護具 : 保護マスク  
手の保護具 : 不浸透性手袋  
眼の保護具 : 保護眼鏡  
皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性防除衣、ゴム長靴

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状态、形状、色など : 淡褐色及び灰黒色。
- pH : 6~7
- 比重又は嵩比重 : 0.9~1.0(嵩比重)
- 溶解度 : 水に一部可溶。

## 10. 安定性及び反応性

- 安定性・反応性 : 水と反応するとアンモニアガスを発生することがある。  
水と反応して、体積膨張し容器を破壊することがある。

## 11. 有害性情報

- 急性毒性(50%致死量等含む) : ラット(経口) LD<sub>50</sub> 146mg/kg
- 皮膚腐食性・刺激性 : 長時間接触し発汗を伴うと、潰傷・発疹することがある。
- 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 眼を刺激し、粘膜を侵すことがある。
- 慢性毒性・ガン原生 : 認められていない(医薬品シアナミドによる長期投与例による)
- 変異原生 : データなし
- その他 : 水と反応するとアンモニアガスを発生することがある。  
取扱中に吸入すると咽喉や気管支に炎症を起こすことがある。  
取扱中に吸入した後に飲酒すると、軽い中毒作用を起こすことがある。  
(頭や上半身の充血、呼吸困難、心臓の興奮、心拍の進時には嘔吐や下痢を伴うこともある。)

## 12. 環境影響情報

- 分解性 : カルシウムシアナミドは、土壤中で容易にシアナミドを経て尿素に分解する。
- 魚毒性 : TLM 31ppm

### 13. 廃棄上の注意

: 肥料として農作物に適量撒くか、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って廃棄する。

### 14. 輸送上の注意

国際規則 : 該当しない。  
国内規則  
陸上規制情報 : 該当しない。  
海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。  
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。  
特別の安全対策 : 海上輸送や水濡れに注意すること。  
破袋しないよう丁寧に取扱うこと。

### 15. 適用法令

肥料取締法 : 指定配合肥料(肥料公定規格)  
水質汚濁防止法 : 生活環境の保全に関する環境基準項目(全窒素、全りん)  
労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物(法第57条2、施行令第18条の2別表第9)  
化学物質管理促進法 : 第一種指定化学物質 政令番号77号 カルシウムシアナミド

### 16. その他の情報

#### 参考文献

1. 14705の化学商品 2005年 (化学工業日報社)
2. 国際化学物質安全性カード(国立医薬品食品衛生研究所)
3. GHS分類結果データベース(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
4. GHSモデルMSDS情報(中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター)

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の数値は、保証値ではありません。

危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには充分注意してください。

注意事項等は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、その時点のご配慮をお願いします。

本SDSは、下記片倉コープアグリ株式会社の情報を元に作成しました。  
該当物質については、下記にお問合せください。

会社名 : 片倉コープアグリ株式会社  
連絡先 : 生産技術本部 生産技術部  
住 所 : 東京都千代田区九段北一丁目8番10号  
電話番号 : 03-5216-6614  
FAX番号 : 03-5216-6621  
緊急連絡先 : 03-5216-6614